

e スポーツについて

令和 4 年 2 月

1 B チーム内での主な意見

- ・社会参加の場が広がる。・家からも参加可能である。・障害有無を超えた交流の場となる。
- ・障害の有無に関係なく、e スポーツを推進する方向でよいのではないか。
- ・金銭面で参加できない人もいる。・過激な内容のものがある。・ゲーム依存。・課金管理。
- ・マイナス面は障害を問わない問題であり、e スポーツはよりユニバーサルな場になる。
- ・普及と合わせてリテラシーを高めていくことが大切である。

2 県の計画における e スポーツの動向

(1) 次期埼玉県 5 か年計画 (R 4 ~ R 8) 【R3. 12 策定】

○ 施策 3 5 スポーツの振興

主な取組に「e スポーツも含めた多彩なスポーツ大会、イベントの誘致・開催」と掲載

(2) 次期埼玉県スポーツ推進計画 (R 5 ~ R 9)

○ バーチャルスポーツの普及へ向けた取組

e スポーツの計画への記載の是非について今後検討予定

※ 参考：他都道府県障害者支援計画等

○ 障害者の e スポーツ活動に係る取組 (R2. 1 徳島県調査)

- ・取組有りと回答した都県、宮城県、群馬県、東京都、徳島県、愛媛県
- ・このうち、障害者支援計画に e スポーツを盛り込んでいる県 群馬県

3 今後の方向性 (案)

次期埼玉県 5 か年計画に「e スポーツ」の表記が追加されたことに加え、上記の御意見等を踏まえ、第 6 期埼玉県障害者支援計画に次の施策を追加する。

5 章 施策の展開

II 地域生活を充実し、社会参加を支援する

5 社会参加の支援

(4) 東京 2020 パラリンピック競技大会を契機とした障害者スポーツの振興

1 6 3 - 2 【新】

障害のある方もない方も共に参加し楽しむことができる e スポーツ情報を発信し、e スポーツのリテラシーを高め、普及を図ります。